

科目ナンバリング：DIS-1-351-07

国際学部：「卒業認定・学位授与方針」で謳う「基礎知識」を身につける為の科目

■授業の目的及び到達目標

中学・高校で地理の授業を担当することを想定し、生徒に興味・関心を持ってもらえる自然地理の入門として基礎的知識と技能を身に付けることを目的とする。
地球全体のスケール、日本列島の形成、身近な地域の地形の特性、自然災害と防災、世界における環境問題への視点を持つことを到達目標とする。

■授業計画

- 1 地球のすがた
システムの基盤としての地球を太陽系の惑星のデータで探る。地球の大きさや重さを知る。地球のかたちについて。
- 2 地球のなりたち
地震のP波・S波による地球の中身の調べかた、地球の「層」構造、太陽系の誕生と地球の進化について学ぶ。
- 3 大気のはたらき
現在の地球の大気組成、大気圏とその温度分布。地球の熱収支とその地域差。「風」の起こるしくみ。地球規模の大気循環について。
- 4 海洋のはたらき
「ザ・ブルー・マープル」(水の惑星)と水の循環。海水と海洋の構造について。海水の循環、主な海流について。
- 5 気候
気候をつくる要素と因子。世界の気温分布。世界の降水量分布。季節風と日本の気候について
- 6 地球史における「最近」の自然変動
「第四紀」という地質時代について。気候は変わる(氷河期・間氷期)。万年スケールでの気候変動の要因について
- 7 プレートテクトニクス
プレートテクトニクスとは何か。プレートテクトニクスの成立。3種のプレート境界。地球の奥深くから立ちのぼる「ブルーム」。ホットスポットが語ること。
- 8 火山
火山の分布とできかた。マグマの種類と噴火様式。火山噴出物と地形。火山地形。火山の災害と恩恵について。
- 9 地震
地震の発生のメカニズム。地震の発生するところ。マグニチュードと震度について。日本付近で発生する地震のタイプ。地震災害と防災を考える。
- 10 地殻変動
マントルに浮かぶ地殻：アイソスタシー。プレートの動きと山地の形成。日本列島の地殻変動。盆地があるということ。
- 11 風化・侵食と地形
山「らしさ」を担う起伏の形成。風化とその果たす役割、侵食と地形。日本の山地の成長にかかる「歯止め」として。侵食の輪廻について。
- 12 世界の大地形
河川による運搬と堆積。堆積平野の形成と地形配列。地形と土地利用。
- 13 運搬・堆積と地形
河川による運搬と堆積。堆積平野の形成と地形配列。地形と土地利用。
- 14 地形図と小地形(平野・丘陵)
地形図の基礎(地図記号、縮尺、等高線)と地形図の技能(勾配の求め方、断面図、尾根・谷線の求め方)
地形図の読図・作業。扇状地・三角洲・氾濫原の地形図作業と読図。土地利用図の作成。
- 15 前期試験
試験及びフィードバック

■授業の方法

書画カメラやPCを使った学習教材の提示と講義。配布資料に基づく演習授業。事前課題に対する発表と質疑応答。AL(アクティブ・ラーニング)を用いた授業展開。フィールドワークを行うための事前学習に取り組みさせる。

■予習・復習

毎時間次週の授業に向けての予告と課題を提示する。教科書の本文を必ず読んでおき、わかりづらい点を理解できるようにノートを作成したり、インターネットで調べせる。前時の復習を行い、本時とのつながりを意識させる。

■成績評価の方法(成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い)

毎時間の演習プリントの取り組み状況をチェックしたり、小テストを実施し、その到達度(20%)をみる。フィールドワークのレポートや課題提出(10%)の内容をみる。さらに前・後期試験を評価(70%)の重点に置く。

■教科書・参考書

- 教科書 「初めての自然地理学」 吉田 秀嗣著(古今書院)
参考書 「自然のしくみがわかる地理学入門」 水野 一晴著(ペレ出版)
新詳地理資料 COMPLETE2020(帝国書院)